

〰〰〰〰 編集後記 〰〰〰〰

『京浜歴史科研年報』一八号をお届けします。昨年度は本会発足二〇周年にあたり、記念論集『近代京浜社会の形成』（岩田書院）を刊行いたしました。刊行にかかわった者のひとりとして、本会の研究活動を支える皆様のご期待に幾ばくかはお応えすることができたのではと自負しております。

しかしながら、論集の刊行準備を進める一方で、研究発表の基盤となる年報刊行は断念せざるを得ませんでした。これはひとえに編集担当の怠慢ではなかったかと自問自答する日々です。

こうしたなかで、今回は三年分の研究成果を盛り込み、誌面が一層充実するように努めました。その結果、創立二〇周年記念講演、論文、研究ノート、紀行文と多岐にわたる内容を掲載することができました。これは執筆者の方々のご協力によることです。

新井勝紘氏には、ご多忙中にもかかわらず、創立二〇周年記念の講演を快諾していただきました。本誌掲載の講演内容は、事務局がまとめ、新井勝紘氏が校閲を行ったもので、今後の自由民権運動研究の指針となる論点が提示されています。

香川雄一氏が翻訳を行ったニール・ウォータース氏の論文は、社会構造や地理的特徴の分析から地域の特質を丹念に考察しようとするものです。こうした外国人による日本史研究の成果を積極的に取り入れることで今後の研究活動の新たな視野が広がるのではと大いに期待しています。

鈴木由子氏、大湖賢一氏、倉田純一氏、伊東清風氏にもお忙しい中で原稿を執筆していただきました。心より感謝申し上げます。

皆様方のおかげをもちまして新たな一步を踏み出すことができました。これからも継続して誌面の充実を図ってまいりますので、ご理解・ご協力のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

（神谷大介）

京 浜 歴 史 科 研 年 報 第 一 八 号

発行日 二〇〇六年二月一日

編集・発行

京浜歴史科学研究会

〒二三三―〇〇〇六

横浜市港南区芹が谷五―五九―一二 大湖賢一方

電話 〇四五―八二五―三七三六

郵便振替口座 〇〇二七〇―八一―一五五三五

印刷

合資会社 横 浜 大 気 堂

横浜市中区真砂町四―四〇